

令和7年度 第2回 会津図書館協議会 議事録

日 時：令和8年3月24日（火）13：30～15：10

場 所：生涯学習総合センター 研修室2・3

出席者：委 員 7名出席

事務局 6名出席（会津図書館長、主幹1名、副主幹1名、主任主査2名、
主任主事1名）

1 議 事（委員長を議長とし、進行）

（1） 令和7年度事業実施状況（下半期）について

※事務局より報告

<質疑応答等>

委 員：本の夜会（P.1）は、17名実績だが、どのような方が参加されたのか教えてほしい。

インターンシップの受入（P.5）が中学校1校、支援学校1校だが、図書館は人気がある職場だと思うが、受入体制の問題から学校のニーズが少ないのか。

最後に、デジタルアーカイブについて文化スポーツ課の絵画を取り入れたことは大変いいことだと思うが、どこかで本物を見せるそんな動きがあってもいい。やはり、本物を見るのとパソコンで見るとは違うと思うので検討されたらいいのではないか。

事務局：まず、本の夜会について、募集20名に17名参加であった。年に1回開催しているが、毎回参加される方もいる。また一般の方、特に女性が多い。今回のテーマは「エッセイ・随筆」ということで、結構幅広い世代（20代から年齢の上の方まで）に、参加してもらい、とても好評だった。一般の方の前で朗読をしたいと希望された方がいて、とても好評だった。

次に、インターンシップの受入れは、こちらは下半期の受入れの報告であり、上半期にも別に受入れを行っている。前回も話をさせていただいたが、中学校が希望する日程が重なっていることが多い。こちらの受入れ体制としては、中学生に丁寧に説明しようとする、1日2名が最大と思っている。また、郡山の支援学校は会津若松市が地元の方で、図書館で働きたいとのことで受入れを行った。

最後に、デジタルアーカイブ事業（P.5）の中の絵画、市の収蔵作品の件について、デジタル化した目的というのが、市の収蔵品数百点の作品が劣化してきてしまうことに非常に危機感を覚え、デジタル化して良い状態で見られる状況にすること。

また、デジタルデータという形ではあるが、後世に継承していくことが目的だったと

聞いている。図書館資料と市文化スポーツ課の資料一緒に所蔵資料が同じところで見られるというのは非常に良い取組だと思い、いろんな入口があって別の資料を見ることも大事だと思う。本物を見せる機会では、市で各学校を訪問し、小学校対象に「ふれあい美術展」を行っているのと、生涯学習総合センターの1階にみちくさギャラリーがある。また、まちなかアートプロジェクトという事業もある。そういう中でも収蔵作品、本物の展示をしているので、そういう機会を並行しながら遠くにいる方でも見られる機会ということで、今後も連携したいと考えている。

委員：意見というよりは今回の感想となるが、とってもいいと思った感想だが、2週間に1回くらい図書館に行き、いろいろ展示されているものを見ると、「私も本を借りよう」という気持ちになり、本当にいいなと思う。個人的に秋に東京の高輪ゲートウェイの近くの本屋に行ったが、図書館と同じ感じの店で賑やかに家族連れで乳母車のまま入ってきて、親子で本を選んで読み聞かせをしながら買っている姿をみて、日本の本屋さんは、ずいぶん形が変わったと思う。私が知っている本屋さんは、本だけがずらっと並んでいる感じだったが、時代とともに本屋さん和図書館がリンクしたような形に変わってきている。図書館の中があまり静かすぎないのが私はいいと最近感じていて、日常的な音が全然騒音にならないのでいいと思う。

乳母車でお子さんを連れのお母さんが普通に静かに本を選んでいる姿を見た時、とてもいいなと思った。集団の中に自然に入ってくる姿を見て、会津若松市の図書館は、頑張っていると思う。日常的な普通のざわめき程度の音があると緊張しなくていい。私も図書館の中歩く時にシーンとした日の時だと靴音が響いて、音立てたらどうしようと思う。子連れの方とか、あんまり静かすぎない方がもしかすると心地がいいと思う。

委員：音についてだが、最近はないが2年位前まで、本を選ぶ時に友達と話をしたり、内容の確認していると、図書館員の方に「静かにしてください」と言われた。図書館内なので、そんな大きな声は出していないはずなので、何度か経験したので、少し物音があるくらいな自然なほうが本当に居心地がよい図書館かもしれない。

事務局：子ども読書活動推進計画策定市民懇談会でも同様に静かでは居心地が悪い、子どもを連れてきて静かにしなくてはいけないとか、緊張しながら図書館を利用できないとの話があり、読み聞かせができるスペースをつくったり、使いやすいように心がけて環境づくりに努めた。

こどもとしゃかんの中では、普通に読み聞かせを行ったりしているが、一般図書館フロアでは、いろいろな方が利用していることから、注意をした経過があったと思う。

委員：たのしい冬のおはなし会（P.3）の件で、定員30名のところ親子17名の参加だった。携わるものとしてもっとたくさんきてほしいと思っている。飾りつけとか、構成とか

内容を選ぶのも会員で相談している。広報も結構してもらっているが、なにかいい方法はないものかと思っている。

事務局：周知方法は、今まではチラシの配付や図書館ホームページ等載せていたが、最近、稽古堂インスタグラムにも載せるようになった。イベントの様子の写真などをインスタに載せるようになり、そこから情報を仕入れた方が楽しさが伝わるような写真での広報ができています。こちらもいろんな媒体で広報するよう努力をする。時期も感染症とかで少なくなることもあると思うが、いろいろな方法を試しながら広報させてもらうので、ご協力をお願いしたい。

委員：改めて図書館の主催事業がいろんなことを行っていることがわかり、感心と共にすごい努力だと感じた。特に各種団体と関わったり、デジタルアーカイブ事業など、頭が下がる思いである。

以前教育委員会の土曜学習会では、小学5.6年生対象に前半は学習するが、後半は図書館を使っていいよという自由で半分以上の子が行く。特に遠くの小学校からくる子どもはいろんな本に触れあいたい、借りて帰って読みたいという。とても良いシステムである。一緒に図書館にいくと小声でこれ面白そうとか、会津図書館で勉強することで素晴らしいことがあると感心させてもらった。運営側には、努力や配慮があると思った。

(2) 令和8年度当初予算、(3) 令和8年度事業計画について

※事務局より報告

<質疑応答等>

特になし

(4) 第三次子ども読書活動推進計画実績報告書について

※事務局より報告

<質疑応答等>

特になし

(5) 第四次子ども読書活動推進計画策定について

※事務局より報告

<質疑応答等>

委員：子ども読書活動について推進計画は必要である。アンケート（P.62～）が載っているが、我々の時と図書館に求めるものが違ってきている価値観なので、それにどれだけこの計画の中で図書館に来て、使っていただけるようにできるかということを考えていってもらいたいと思った。

事務局：できる人ができることをする。確かに価値観が変わってきている。

委員：公民館の図書はどこで管理をしているのか。例えば、本の修理はどうしているのか。その後についても知りたい。あと、本の並べ方が図書館と違っていて分かりづらい。

事務局：本の修理についてだが、ブックコートフィルムを公民館に配布して、簡単な修理は公民館で職員が行っている。しかし、修理できない図書は、会津図書館に送ってもらい、こちらで修理を行っている。図書館奉仕員と職員が各公民館を訪問し、年1、2回程度、除籍など本の整理や簡単なアドバイスをやっている。また、公民館図書室担当職員連絡会議を年に1回程度、問題点など協議している。

（6）会津若松市立会津図書館条例施行規則の一部改正について

※事務局より報告

<質疑応答等>

特になし

4 その他

事務局：連絡事項

○前回会議でのリクエストの件数について

- | | | | |
|---------------|----------|---------------|-------|
| ・令和6年度 | 本館と移動図書館 | 合計777件中683件購入 | 87.9% |
| ・令和7年度（2月末現在） | 本館と移動図書館 | 合計926件中814件購入 | 87.9% |

○「移動図書館だより3月号」の配布・紹介

○「家読のススメNo.13（ありがとうの本）」

以上